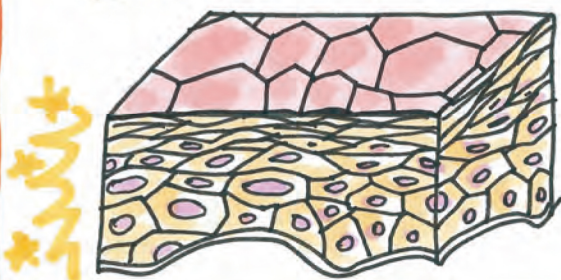


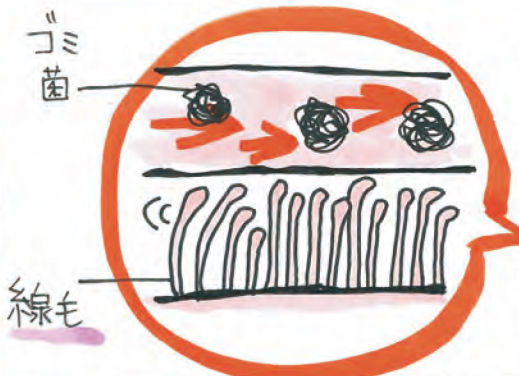
## こんなにちがう!! 口の粘膜・鼻の粘膜

熱いスープ、辛いキチン。こんなのが鼻に入ったら痛くて大変!!  
でも、口の中ならなぜ大丈夫なんだろう?

口の中の粘膜は何重にもなっていて丈夫!!



「重層扁平上皮」といい、平べったい細胞が積み重なってできていて、この構造のおかげで舌の組織は熱いもの、すっぱいもの、辛いものからの刺激から守られているのです。



鼻の中の粘膜

粘膜についたゴミや菌を線毛が大玉送りのように鼻の奥ののどに向かって器用に運んでいきます。(その後は「たん」と一緒に体外へ排出)

食物の刺激には耐える構造になっていないんですね。

鼻と口の中もおおむね粘膜は、必要があってこんなに別々の仕組みになっているのです。すぐ近くにあるように見えてもこんなにちがうなんておもしろいですね。

花粉症  
つらいよね~

へえ~

